

EBC(Evidence-based Control)研究会ワークショップ 2018のご案内

日時

2018年9月19日(水)10時~17時

場所

東京大学農学部1号館2階8番教室(東京都文京区弥生1-1-1)

<http://www.a.u-tokyo.ac.jp/campus/keiro.html>を参照下さい。東京メトロ南北線東大前駅から徒歩1分

参加申し込み

下記事務局に8月24日(金)までに電子メール【宛先:日本植物防疫協会 沼田京太(k-numata@jppa.or.jp)】にてお願いします。申し込みをされた方には講演要旨(PDF)をダウンロードできる方法を電子メールにてご案内します。印刷して当日ご持参ください。

参加受付

東京大学農学部1号館2階8番教室(ワークショップ会場)にて受け付けます。参加費および情報交換会費(出席される場合)を徴収させていただきますので、予めご用意をお願いします。

参加費

2,000円(学生, 大学院生は1,000円)

情報交換会

東京大学農学部内にあるレストラン「アブルポア」にて17時30分より開催します。会費は5,000円程度を予定しています。出席ご希望の方は、参加申し込み時にお申し出下さい(定員になり次第締め切らせて頂きます)。

プログラム

10:00 開会

第一部 招待講演

10:00~11:00 「カンキツの栽培管理ナビゲーションの実現を目指して」

座長:中野 正明(農研機構・九州沖縄農業研究センター)

根角 博久【(国研) 農研機構・九州沖縄農業研究センター】

農地環境に関わる種々の要因を推定してそれらの情報を共有できる「農地環境推定システム」を活用することによって、科学的エビデンスに基づいた栽培管理のPDCAサイクルを構築しようとする技術を現在開発中です。今回はシステムの概要とカンキツの高品質生産や病害虫防除での取り組み事例について紹介します。

11:00~12:00 「青森県におけるリンゴ黒星病の新防除体系とその評価」

座長:江口 直樹(長野県果樹試験場)

赤平 和也【(地独) 青森県産業技術センターりんご研究所】

青森県では2015年、2016年と連続してリンゴ黒星病が多発し、特に2016年は多くの園地で実害を伴う激しい被害が確認されました。その後の調査で、この発生要因がDMI剤に対する薬剤耐性菌の出現であり、津軽地域で広域に存在していることが明らかとなりました。本演題では、2016年の多発生要因の解明と2017年から実施したDMI剤を使用しない新たな防除体系の評価、ならびにリンゴ黒星病のその後の発生経過を紹介します。

12:00~13:00 一昼 食一

13:00～14:00 「病害の伝染源解明のための空間分布解析について」
座長:池田 健太郎(群馬県農業技術センター)

川口 章【(国研) 農研機構・西日本農業研究センター】

農業生産現場において、病害の伝染源解明は効率的な防除を行う上で非常に重要なエビデンスとなります。発病した植物個体の分布やその拡がり方を数理モデルで整理し、当てはめることで伝染源の推定が可能になります。本演題では、その手法の一つである空間分布解析について整理・解説します。あわせて、今年 6 月に開催された国際植物疫学ワークショップ (IEW12) の参加報告も行います。

14:00～15:00 「イネ稲こうじ病の防除技術におけるパラダイムシフト」
—イネ体に感染した菌ではなく土壌中の厚壁胞子をたたく—

座長:石川 浩司(新潟県農林水産部)

芦澤 武人【(国研) 農研機構・中央農業研究センター】

成熟期近くにならないと病徴が現れない本病は、近年土壌中に存在する厚壁胞子が伝染源であることがわかってきました。しかし、現行の薬剤防除対策はイネの地上部に感染した菌をターゲットとしたものであり、耐久体である厚壁胞子に直接作用する薬剤はありません。そこで、発生生態の研究動向と土壌処理資材を利用した新規の防除技術の開発状況について紹介します。

15:00～15:10 —休憩—

第二部 ショートトーク (座長:岩舘 康哉(岩手県農業研究センター))

15:10～15:40 「土壌中の *Verticillium* 属菌の菌密度測定法の開発と発病の評価への課題」
池田 健太郎 (群馬県農政部技術支援課)

15:40～16:00 「アグロカネショウが実施している土壌病害の生物性診断について」
美野 光哉 (アグロカネショウ株式会社)

16:00～16:30 「新規 SDHI 剤ケンジャフロアブルの基本特性と上手な使い方」
福森 庸平 (石原産業株式会社 中央研究所)

16:30～17:00 総合討論 (座長:川口 章(農研機構・西日本農業研究センター))

17:30 情報交換会

参加申し込み・問い合わせ先:研究会事務局 日本植物防疫協会茨城研究所 沼田京太(k-numata@jppa.or.jp)

【お知らせ】

ワークショップの翌日 9 月 20 日(木)には、一般社団法人日本植物防疫協会主催のシンポジウム「転換期にたつ植物防疫」(場所:日本教育会館「一ツ橋ホール」(東京都千代田区一ツ橋 2-6-2))が開催されます。